

## 編纂事業の進捗状況

寫田修

### はじめに

百五十年史編纂事業の進捗状況報告の七回目である。今回は、二〇一六年一月から二〇一七年一月末までの状況を報告する。以下、編纂委員会、編纂専門委員会、第1巻編集会議での議論を中心に説明していきたい。

#### 一．二〇一六年度後期の状況

##### (一) 各委員会・会議の概要

二〇一六年度後期(二〇一六年一月～二〇一七年三月)は、編纂委員会が一回、編纂専門委員会が二回、第1巻編集

会議が二回行われた。以下、各回の概要（日程、議題等）を開催日順に示す。

○編纂専門委員会（第三回） 一月二二日、一二時一五分～一四時、99号館（STEP21）六階会議室にて開催。委員の出席者は六名。

〈協議事項〉 1. 『早稲田大学百五十年史』編集大綱の件／2. 『早稲田大学百五十年史』執筆要領の件／3. 『早稲田大学百五十年史』第1巻の編集・執筆の件／4. 『早稲田大学百五十年史』第2巻の編集方針の件

〈報告事項〉 1. 『早稲田大学百五十年史』第1巻編集会議の件／2. Web版資料集の件／3. Wikisystem導入の件／4. 資料調査・収集状況の件／5. 法人会議資料の目録化・デジタル化状況の件／6. 大学関係者聞き取り調査の件／7. 早稲田大学大学史セミナーの件

○編纂委員会（第二回） 一月二九日、一二時一〇分～一三時、大隈会館N二〇一会議室にて開催。委員の出席者は二名。

〈協議事項〉 1. 『早稲田大学百五十年史』編集大綱に関する件／2. 『早稲田大学百五十年史』執筆要領に関する件／3. 『早稲田大学百五十年史』第1巻の編集・執筆に関する件／4. 『早稲田大学百五十年史』第2巻の編集方針に関する件

〈報告事項〉 1. 早稲田大学百五十年史編纂委員に関する件／2. 早稲田大学百五十年史編纂専門委員会の報告に関する件／3. 『早稲田大学百五十年史』第1巻編集会議に関する件／4. Web版資料集に関する件／5. Wikisystem導入に関する件／6. 資料調査・収集状況に関する件／7. 法人会議資料の目録化・デジタル化状況に

関する件／8. 大学関係者聞き取り調査に関する件／9. 早稲田大学大学史セミナーに関する件

○第1巻編集会議（第三回）二月二二日、一〇時三〇分～一二時、99号館（STEP21）六階会議室にて開催。会議メンバーの出席者は八名。

〈協議事項〉1. 『早稲田大学百五十年史』第1巻構成の件／2. 『早稲田大学百五十年史』第1巻ページ割の件／3. 『早稲田大学百五十年史』第1巻編纂スケジュールの件

○編纂専門委員会（第四回）二月二八日、一〇時三〇分～一二時四〇分、99号館（STEP21）六階会議室にて開催。委員の出席者は四名。

〈協議事項〉1. 『早稲田大学百五十年史』執筆要領の件／2. 『早稲田大学百五十年史』第1巻の編集・執筆の件／3. 『早稲田大学百五十年史』第2巻の編集方針の件／4. 学内機密文書の取扱要領の件／5. Web版資料集作成・公開日程の件／6. 早稲田大学大学史セミナー拡大版シンポジウムの件  
 〈報告事項〉1. 『早稲田大学百五十年史』第1巻編集会議の件／2. Web版資料集の件／3. Wikiシステム導入の件／4. 資料調査・収集状況の件／5. 法人会議資料の目録化・デジタル化状況の件／6. 大学関係者聞き取り調査の件／7. 早稲田大学大学史セミナーの件

○第1巻編集会議（第四回）三月二九日、一四時～一五時四〇分、99号館（STEP21）六階会議室にて開催。会議メンバーの出席者は八名。

〔協議事項〕 1. 構成および草稿執筆分担の件／2. 編集体制およびスケジュールの件／3. 体裁の件／4. 執筆要領およびマニュアルの件

(二) 各委員会・会議での議論の内容

以下、各委員会・会議での議論を適宜項目に分け、まとめていく。

① 編集体制

編纂委員の交代（一名）があり、編纂委員会において新任の委員の紹介があった。

② 編集・執筆方針

前回の編纂委員会に引き続き編集大綱および執筆要領について協議がなされ、編纂委員会で承認された。なお、執筆要領については、今後も随時変更・追加していくものとした。

③ 叙述の内容

第1巻については、前回の編纂委員会で報告した編集・執筆方法を具体化するため、各部・章・節・項の名称を示した新たな構成案を作成し、第1巻編集会議および編纂専門委員会で検討を重ね、編纂委員会で承認された。なお、この構成案は、今後の執筆作業を通して適宜変更・調整等がなされるものとした。第2巻については、「学生」や「スポーツ」などの内容について、何を記述事項として選び、どのように叙述するのか等の検討を重ねた。

## ④資料調査・収集

学内資料については、保存文書目録の収集状況のほか、学術院事務所保管の資料の借用に関して、学外調査については、G H Q 関係資料等の調査・収集に関して報告をした。また、聞き取り調査については、戦争体験者の聞き取り調査の実施や、聞き取り済みデータの原稿化と公開について報告をした。

## ⑤Web 版資料集

人名データベース、戦争犠牲者データベース、学校設置関係資料データベース等の作業進捗状況について報告をした。また、情報企画部および開発業者とともに、Wiki システムを活用した『早稲田大学百年史』閲覧・検索システムの構築』と『早稲田大学百五十年史』編集・公開システムの導入』について検討を重ね、各委員会で報告をした。

## ⑥情報発信

一月二七日に第三回早稲田大学大学史セミナーを開催した。講師に浅古弘氏（本学法学学術院〈大学院法務研究科〉教授）を招き、「私立大学に於ける情報公開と文書管理」という題目でご講演いただいた。また、『早稲田大学史記要』第四八巻（二〇一七年二月刊行）に、第一回大学史セミナー（西山伸氏）および第二回大学史セミナー（寺崎昌男氏）の講演録、西原春夫元総長への聞き取り記録を掲載した。

## 二.二〇一七年度前期の状況

## (一) 各委員会・会議の概要

二〇一七年度前期(二〇一七年四月～二〇一七年一〇月)は、編纂委員会が一回、編纂専門委員会が二回、第1巻編集会議が三回行われた。以下、各回の概要(日程、議題等)を開催日順に示す。

○第1巻編集会議(第五回) 四月二十六日、一二時一〇分～一四時一〇分、99号館(STEP21) 六階会議室にて開催。  
会議メンバーの出席者は八名。

〈協議事項〉 1. 編集・執筆体制およびスケジュールの件 / 2. 執筆内容・方法の調整の件 / 3. 執筆要領およびマニユアルの件 / 4. 体裁およびページ割の件

○編纂専門委員会(第一回) 六月七日、一二時一〇分～一四時、99号館(STEP21) 六階会議室にて開催。委員の出席者は五名。

〈協議事項〉 1. 二〇一七年度編集体制および編集計画の件 / 2. 『早稲田大学百五十年史』執筆要領およびマニユアルの件 / 3. 『早稲田大学百五十年史』体裁の件 / 4. 『早稲田大学百五十年史』第1巻の編集・執筆の件 / 5. 『早稲田大学百五十年史』第2巻の編集方針の件 / 6. Wikiシステム運用の件 / 7. 学内機密文書の取扱要領の件 / 8. 早稲田大学大学史セミナー拡大版シンポジウムの件

〔報告事項〕 1. 『早稲田大学百五十年史』第1巻編集会議の件／2. Web版資料集の件／3. 資料調査・収集状況の件／4. 法人会議資料の目録化・デジタル化状況の件／5. 大学関係者聞き取り調査の件／6. 授業担当コマ数軽減措置の件

○第1巻編集会議（第六回）六月二十八日、一二時一〇分～一四時、99号館（STEP21）六階会議室にて開催。会議メンバーの出席者は一〇名。

〔協議事項〕 1. 編集・執筆体制およびスケジュールの件／2. 執筆内容・方法の件／3. 執筆マニュアルの件

○編集委員会（第一回）七月五日、一二時一〇分～一三時、大隈会館N三〇五会議室にて開催。委員の出席者は一三名。

〔協議事項〕 1. 二〇一七年度編集体制および編集計画に関する件／2. 『早稲田大学百五十年史』執筆要領に関する件／3. 『早稲田大学百五十年史』体裁に関する件／4. 『早稲田大学百五十年史』第1巻の編集・執筆に関する件／5. 『早稲田大学百五十年史』第2巻の編集方針に関する件／6. Web版資料集作成・公開日程に関する件／7. Wikiシステム構築・運用に関する件／8. 執筆担当専任教員の負担代替に関する件

〔報告事項〕 1. 早稲田大学百五十年史編纂専門委員会の報告に関する件／2. 『早稲田大学百五十年史』第1巻編集会議の報告に関する件／3. 『早稲田大学百五十年史』執筆マニュアルに関する件／4. Web版資料集に関する件／5. 資料調査・収集状況に関する件／6. 法人会議資料の目録化・デジタル化状況に関する件／7. 学内機密文書の取扱要領に関する件／8. 大学関係者聞き取り調査に関する件／9. 早稲田大学大学史セミナーに関する件

○第1巻編集会議（第七回）九月一三日、一四時一五分～一六時一五分、99号館（STEP21）六階会議室にて開催。会議メンバーの出席者は九名。

〈協議事項〉 1. 編集・執筆体制およびスケジュールの件／2. 執筆内容・方法の件／3. 執筆要領およびマニュアルの件

○編集専門委員会（第二回）九月一四日、一四時～一五時四五分、99号館（STEP21）六階会議室にて開催。委員の出席者は六名。

〈協議事項〉 1. 編集・執筆体制およびスケジュールの件／2. 『早稲田大学百五十年史』執筆要領およびマニュアルの件／3. 『早稲田大学百五十年史』第1巻の編集・執筆の件／4. 『早稲田大学百五十年史』第2巻の編集方針の件／5. Wikiシステム構築・運用の件

〈報告事項〉 1. 『早稲田大学百五十年史』第1巻編集会議の件／2. Web版資料集の件／3. 資料調査・収集状況の件／4. 法人会議資料の目録化・デジタル化状況の件／5. 大学関係者聞き取り調査の件／6. 早稲田大学大  
学史セミナー拡大版シンポジウムの件

（二）各委員会・会議での議論の内容

以下、各委員会・会議での議論を適宜項目に分け、まとめていく。



## ① 編纂日程

Web 版資料集作成・公開日程の変更（各データベース作成に関する優先順位の変更）について提案があり、編纂委員会において承認された。

## ② 編集体制

四月に第3巻編集担当の非常勤嘱託（二名）の就任（交代）があった。また、第1巻編集会議について、第2巻、第3巻編集担当のスタッフもメンバーに加わることが編纂委員会において承認された。

## ③ 編集・執筆方針

判型、組み方などの体裁について協議がなされ、引き続き検討を重ねていくこととなった。また、執筆要領・執筆マニュアルについては、執筆作業に則して適宜変更・追加したものが報告された。

## ④ 叙述の内容

第1巻については、新たな構成案を踏まえ、各章・節・項の執筆担当者、タイトル、配置、ページ割などが協議された。また、編集方針および執筆要領、マニュアルを踏まえたサンプル原稿（二項分）を作成し、内容・方法等議論を重ねた。第2巻については、時期区分や取り上げるべき項目について試案を挙げ、さらに、特に検討を要する事項として、A「一九八〇年の商学部不正入試・成績原簿改竄問題」、B「一九六八年以後の大学紛争」、C「新キャンパス新設をめぐる問題（所沢・幕張論争）」の三点を選び、A、Bについては具体的に検討をくわえた。

## ⑤ 資料調査・収集

学内資料については、教員組合や職員組合等へのヒアリングを実施し、資料の寄贈を受けたことや、退職教員資料の収集について報告をした。学外資料については、元教員の資料や東京都公文書館所蔵資料を中心に調査・収集を進めている旨報告をした。また、学内機密文書の取扱いに関し、「早稲田大学百五十年史編纂事業における学内機密文書及びその複製物の取扱要領」を提案し、承認を得た。その他、聞き取り調査については、大学関係者の聞き取り調査（座談会）の実施や、聞き取り済みデータの原稿化と公開について報告をした。

## ⑥ Web版資料集

人名データベース、戦争犠牲者データベース、学校設置関係資料データベース、「早稲田学報」記事データベース等の作業進捗状況と、一部のデータベースについては、「早稲田大学文化資源データベース」において公開される旨報告をした。（Wikiシステムに関しては左記⑦を参照のこと）

## ⑦ Wikiシステム構築・運用

情報企画部および開発業者と進めていた、Wikiシステムを活用した『早稲田大学百年史』閲覧・検索システムの構築」と『早稲田大学百五十年史』編集・公開システムの導入』について、協議および報告があった。前者については、「早稲田大学百年史」Wikiサイトβ版（パイロット版）」としてひとまず完成し正式版の構築を進めること、後者については、前者を利用した『早稲田大学百五十年史』の新たな活用を図るシステムの構築について提案があり、編纂委員会で承認された。

## ⑧情報発信

一〇月九日に早稲田大学大学史セミナーの拡大版として、シンポジウム「新しくみえてきた早稲田の歴史―『百五十年史』編纂過程の成果と課題―」を開催した。報告者には湯川次義氏（本学教育・総合科学芸術院教授）、木下恵太氏（本学大学史資料センター非常勤嘱託）、コメンテーターには寺崎昌男氏（東京大学・立教大学・桜美林大学名誉教授）を招き、新たな編纂方針や編纂の過程で分かった新事実を紹介しながら、『百五十年史』編纂の意義や今後の展望について議論をした。

## ⑨その他の事項

執筆担当専任教員の負担代替について、授業コマ数軽減のための非常勤講師充当が困難な状況のなか、代替措置として執筆に対する原稿料の支払いについて協議がなされた。

## おわりに

この一年、第1巻については草稿執筆作業が本格的に動き出し、Wikiシステムを活用した『早稲田大学百年史』のデジタル化はその形が見えてくるなど、これまで進めてきた作業が実を結ぶ一方、聞き取り調査など早急に着手しなければならぬ課題も数多く残された。次の一年、編纂事業のさらなる推進をはかるべく、日々取り組んでいきたい。